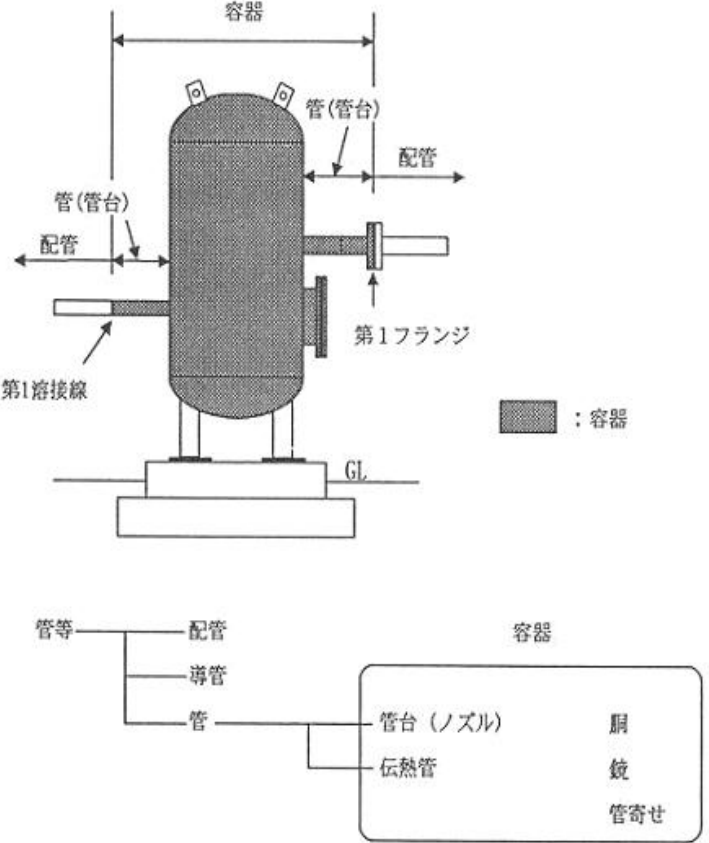
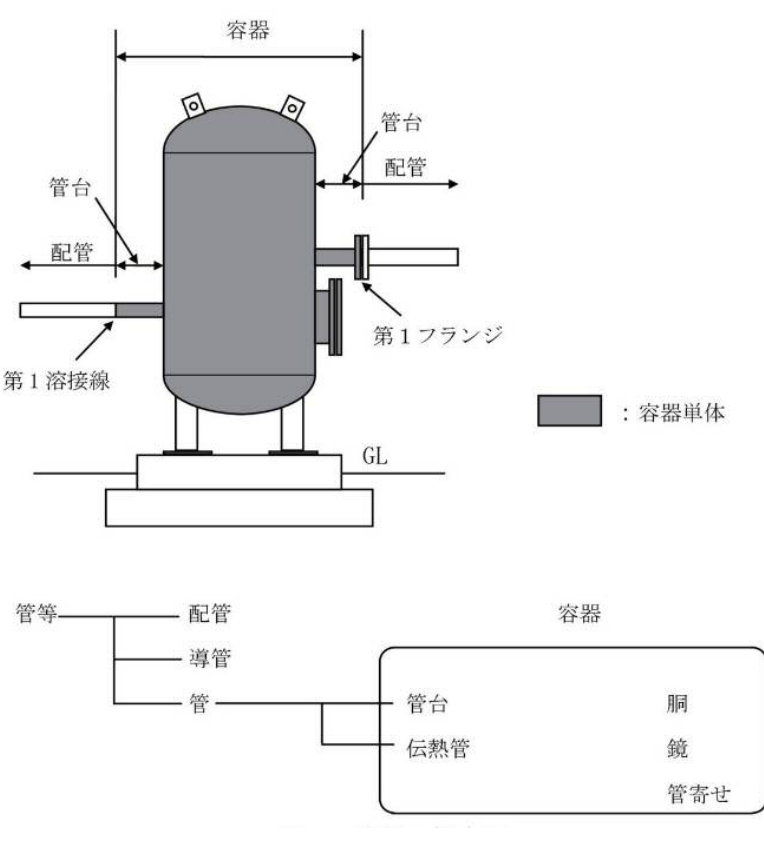


「本支管指針(設計編) (JGA 指-201-11)」訂正表

注) 技術的な変更要素はないものの、平成 26 年までに改訂された引用図書類への整合や誤字脱字の修正等の軽微な変更を反映し、訂正表を発行する。

	ページ	位置	誤	正
1	4	1.3 用語の定義 参図 1-1	 <p style="text-align: center;">参図 1-1 容器の<u>範囲</u></p>	 <p style="text-align: center;">参図 1-1 容器の<u>概念図</u></p>

	ページ	位置	誤	正
2	3	1.2 適用範囲 【解説】 *1	本指針は、事業者によく採用されている最高使用圧力1MPa未満の中低圧本支管等において、一般的に行われている設計に関して適用するものであり、大規模推進工事、専用橋工事等の特殊な工事については、本指針以外にも個別の検討が必要である。	本指針は、事業者によく採用されている最高使用圧力1MPa未満の中低圧本支管等において、一般的に行われている設計に関して適用するものであり、大規模推進工事、専用橋工事等の特殊な工事については、本指針以外にも個別の検討が必要である。 <u>また、中圧B(0.1MPa以上0.3MPa未満)に適用するポリエチレン管に係る設計を行う際は(一社)日本ガス協会「本支管指針、供給管・内管指針(中圧ポリエチレン管増補版)」の関係箇所を参照すること。</u>
3	26	3.1.2 本支管の設置場所 【関連条項】	追加	<u>事務連絡(管類等の設置許可の運用について)(H24.3.21)国土交通省 水管理・国土保全局</u> <u>事務連絡(河川を横断する管類等の設置許可の運用について)(H26.3.14)国土交通省 水管理・国土保全局</u>
4	34	3.2.1 材料と接合方式の選定 【解説】 *4	「中低圧ガス導管耐震設計指針」( (社) 日本ガス協会、 <u>2004.3</u> )	<u>(一社) 日本ガス協会「中低圧ガス導管耐震設計指針」(2013)</u>
5	35	3.2.2 本支管材料 【解説】 *1 解表3-2	21 JIS G 3463(ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼管)	21 JIS G 3463(ボイラ・熱交換器用ステンレス <u>鋼</u> 鋼管)
6	35	3.2.2 本支管材料 【解説】 *1 解表3-2	31 JIS G 5122(耐熱鋼 <u>鋳鋼品</u> )	31 JIS G 5122(耐熱鋼 <u>及び耐熱合金鋳造品</u> )
7	36	3.2.2 本支管材料 【解説】 *1 解表3-2	36 JIS G <u>3451</u> (水輸送用塗覆装鋼管の異形管)	36 JIS G <u>3443-2</u> (水輸送用塗覆装鋼管-第2部:異形管)

	ページ	位置	誤	正
8	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	46 JIS H 3100(銅及び銅合金の板 <u>及び</u> 条)	46 JIS H 3100(銅及び銅合金の板 <u>並びに</u> 条)
9	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	47 JIS H 3250(銅及び銅合金棒)	47 JIS H 3250(銅及び銅合金の <u>棒</u> )
10	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	48 JIS H 3300(銅及び銅合金継目無管)	48 JIS H 3300(銅及び銅合金の <u>継目無管</u> )
11	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	<u>50 JIS H 4312(水道用ポリエチレンライニング鉛管)</u>	<u>削除</u>
12	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	53 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管)	53 JIS K 6741(硬質 <u>ポリ</u> 塩化ビニル管)
13	36	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	54 JIS K 6742(水道用硬質塩化ビニル管)	54 JIS K 6742(水道用硬質 <u>ポリ</u> 塩化ビニル管)
14	37	3.2.2 本支管 材料 【解説】 *1 解表3-2	59 JIS G 3443(水輸送用塗覆装鋼管)	59 JIS G 3443- <u>1</u> (水輸送用塗覆装鋼管- <u>第1部：直管</u> )

	ページ	位置	誤	正
15	40	3.2.2 本支管材料 【解説】 *2 解表3-3	JIS G 3452(1997) 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(1988) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3457(1988) 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管	JIS G 3452(2010) 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(2007) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3457(2005) 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管
16	40	3.2.2 本支管材料 【参考】 **1	本支管材料の内、異形管等の例を鋳鉄管については参図3-1に、また鋼管については参図3-2、ポリエチレン管については参図3-3に、トランジション継手(鋳鉄管又は鋼管とPE管の接続用)を参図3-4に示す。	本支管材料の内、異形管等の例を鋳鉄管については参図3-1に、また鋼管については参図3-2、ポリエチレン管については参図3-3に、トランジション継手(鋳鉄管又は鋼管とPE管の接続用)を参図3-4に示す(ヒートフュージョン継手は現在使用されていない)。
17	45	3.2.3.1 接合の方法 【解説】 解表3-4	最高使用圧	最高使用 <u>圧力</u>
18	45	3.2.3.1 接合の方法 【解説】 解表3-4	本支管の材	本支管の材 <u>料</u>
19	48	3.2.3.2 溶接接合(3)	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
20	50	3.2.3.2 溶接接合(3) 【解説】 解表3-6 解表3-7	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
21	51	3.2.3.2 溶接接合(3) 【解説】 解表3-8	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
22	52	3.2.3.2 溶接接合(3) 【解説】 解表3-8	6.1.4 溶接継手形式と <u>その</u> 使用範囲	6.1.4 溶接継手形式 <u>及び</u> 使用範囲

	ページ	位置	誤	正
23	52	3.2.3.2 溶接 接合(3) 【解説】 *4	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
24	53	3.2.3.2 溶接 接合(3) 【解説】 *6	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
25	54	3.2.3.3 融着 接合 【解説】 *1	融着方法は、加熱方法により大別すると、ヒートフュージョンとエレクトロフュージョンに分けられ、その比較を解表3-10に示す。	融着方法は、加熱方法により大別すると、ヒートフュージョンとエレクトロフュージョンに分けられ、その比較を解表3-10に示す(ヒートフュージョン継手は現在使用されていない)。
26	55	3.2.3.3 融着 接合 【解説】 *3	(社)日本ガス協会	(一社)日本ガス協会
27	56	3.2.3.3 融着 接合 【参考】 **1	(社)日本ガス協会	(一社)日本ガス協会
28	56	3.2.3.3 融着 接合 【参考】 **1	(社)日本簡易ガス協会	(一社)日本コミュニティーガス協会
29	56	3.2.3.3 融着 接合 【参考】 **1	ガス用ポリエチレン管等推奨表示制度実施要領(第4次改訂版)	ガス用ポリエチレン管等推奨表示制度実施要領(第5次改訂版)
30	58	3.2.3.4 機械的 接合等の 接合 【解説】 *1	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)
31	59	3.2.3.5 分岐 方法 (1)	JIS B 8265(2008)	JIS B 8265(2010)

	ページ	位置	誤	正
32	60	3.2.3.5 分岐方法 【解説】 * 2 (3)	元管に割スリーブを取付ける場合のせん孔径は元管の径としているのは、割スリーブの機能がT字管と同様の気密性と補強効果を有するものとしているからである。	元管に割スリーブを取付ける場合のせん孔径を元管の径としているのは、割スリーブの機能がT字管と同様の気密性と補強効果を有するものとしているからである。
33	79	15行目	$S=2.5$ 、 $W_f=0.002gh$ (MPa)とし	$S=2.5$ とし
34	81	2行目	「中低圧ガス導管耐震設計指針」( (社) 日本ガス協会、平成16年3月)	(一社) 日本ガス協会「中低圧ガス導管耐震設計指針」(2013)
35	87	6~8行目	「トンネル標準示方書(シールド工法編)・同解説」( (社) 土木学会 1996年) の第29条(鉛直土圧および水平土圧)、第30条(水圧)、第32条(上載荷重の影響)	「トンネル標準示方書(シールド工法編)・同解説」( (社) 土木学会 2006年) の第27条(鉛直土圧および水平土圧)、第28条(水圧)、第30条(上載荷重の影響)
36	87	9~10行目	「トンネル標準示方書(山岳工法編)・同解説」( (社) 土木学会 1996年) の第32条(地山特性)	「トンネル標準示方書(山岳工法編)・同解説」( (社) 土木学会 2006年) の第37条(地山特性)
37	87	11~13行目	「トンネル標準示方書(開削工法編)・同解説」( (社) 土木学会 1996年) の第25条(地表面上の荷重)、第26条(土被り荷重)、第27条(土圧および水圧)	「トンネル標準示方書(開削工法編)・同解説」( (社) 土木学会 2006年) の第34条(地表面上の荷重)、第35条(土被り荷重)、第36条(土圧および水圧または側圧)
38	90~92	解表 3-18	( $C_z$ 地域別補正係数の地域区分)	道路橋示方書改訂に伴う表の差替え(別紙1参照)
39	92	1行目	地盤の特性値 $T G$	地盤の基本固有周期 $T G$
40	93	1行目	地盤の特性値 $T G$	地盤の基本固有周期 $T G$
41	101	6行目	JIS B 8265 (2008)	JIS B 8265 (2010)
42	166	【解説】 * 2 2行目	JIS B2003(1994)	JIS B2003(2013)
43	203	付録 4	一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 (1995) 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 (1997) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454 (1988) 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 JIS G 3457 (1988)	一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 (2010) 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 (2010) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454 (2007) 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 JIS G 3457 (2005)
44	281 ~ 284	付録 17 設計 図の例	(例 1 - 1 ~ 2) (例 2 - 1 ~ 2)	不鮮明な添付図面の差替え(別紙2参照)

以上

解表 3-18 Cz 地域別補正係数の地域区分 (1) (正)

地域区分	地域別補正係数Cz	対象地域
<u>A 1</u>	<u>1.0</u>	<u>千葉県のうち館山市, 木更津市, 勝浦市, 鴨川市, 君津市, 富津市, 南房総市, 夷隅郡, 安房郡</u> <u>神奈川県</u> <u>山梨県のうち富士吉田市, 都留市, 大月市, 上野原市, 西八代郡, 南巨摩郡, 南都留郡</u> <u>静岡県</u> <u>愛知県のうち名古屋市, 豊橋市, 半田市, 豊川市, 津島市, 刈谷市, 西尾市, 蒲郡市, 常滑市, 稲沢市, 新城市, 東海市, 大府市, 知多市, 豊明市, 田原市, 愛西市, 清須市, 弥富市, あま市, 海部郡, 知多郡, 額田郡, 北設楽郡のうち東栄町,</u> <u>三重県(津市, 松阪市, 名張市, 亀山市, いなべ市, 伊賀市, 三重郡菰野町を除く。)</u> <u>和歌山県のうち新宮市, 西牟婁郡, 東牟婁郡</u> <u>徳島県のうち那賀郡, 海部郡</u>
<u>A 2</u>	<u>1.0</u>	<u>A 1, B 1, B 2, C 地域以外の地域</u>
<u>B 1</u>	<u>0.85</u>	<u>愛媛県のうち宇和島市, 北宇和郡, 南宇和郡</u> <u>高知県(B 2 地域に掲げる地域を除く。)</u> <u>宮崎県のうち延岡市, 日向市, 児湯郡(西米良村及び木城町を除く。)</u> <u>東臼杵郡のうち門川町</u>
<u>B 2</u>	<u>0.85</u>	<u>北海道のうち札幌市, 函館市, 小樽市, 室蘭市, 北見市, 夕張市, 岩見沢市, 網走市, 苫小牧市, 美唄市, 芦別市, 江別市, 赤平市, 三笠市, 千歳市, 滝川市, 砂川市, 歌志内市, 深川市, 富良野市, 登別市, 恵庭市, 伊達市, 北広島市, 石狩市, 北斗市, 石狩郡, 松前郡, 上磯郡, 亀田郡, 茅部郡, 二世海郡, 山越郡, 檜山郡, 爾志郡, 奥尻郡, 瀬棚郡, 久遠郡, 島牧郡, 寿都郡, 磯谷郡, 虻田郡, 岩内郡, 古宇郡, 積丹郡, 古平郡, 余市郡, 空知郡, 夕張郡, 樺戸郡, 雨竜郡, 上川郡(上川総合振興局)のうち東神楽町, 上川町, 東川町及び美瑛町, 勇払郡, 網走郡, 斜里郡, 常呂郡, 有珠郡, 白老郡</u> <u>青森県のうち青森市, 弘前市, 黒石市, 五所川原市, むつ市, つがる市, 平川市, 東津軽郡, 西津軽郡, 中津軽郡, 南津軽郡, 北津軽郡, 下北郡</u> <u>秋田県, 山形県</u> <u>福島県のうち会津若松市, 郡山市, 白河市, 須賀川市, 喜多方市, 岩瀬郡, 南会津郡, 耶麻郡, 河沼郡, 大沼郡, 西白河郡</u> <u>新潟県</u> <u>富山県のうち魚津市, 滑川市, 黒部市, 下新川郡</u> <u>石川県のうち輪島市, 殊洲市, 鳳珠郡</u> <u>鳥取県のうち米子市, 倉吉市, 境港市, 東伯郡, 西伯郡, 日野郡</u> <u>島根県, 岡山県, 広島県</u> <u>徳島県のうち美馬市, 三好市, 美馬郡, 三好郡</u> <u>香川県のうち高松市, 丸亀市, 坂出市, 善通寺市, 観音寺市, 三豊市, 小豆郡, 香川郡, 綾歌郡, 仲多度郡</u> <u>愛媛県(B 1 地域に掲げる地域を除く。)</u> <u>高知県のうち長岡郡, 土佐郡, 吾川郡(いの町のうち旧伊野町の地区を除く。)</u> <u>熊本県(C 地域に掲げる地域を除く。)</u> <u>大分県(C 地域に掲げる地域を除く。)</u> <u>宮崎県(B 1 地域に掲げる地域を除く。)</u>

解表 3-18 Cz 地域別補正係数の地域区分 (2) (正)

地域区分	地域別補正 係数C <sub>z</sub>	対象地域
<u>C</u>	<u>0.7</u>	<u>北海道のうち旭川市，留萌市，稚内市，紋別市，士別市，名寄市，上川郡（上川総合振興局）のうち鷹栖町，当麻町，比布町，愛別町，和寒町，剣淵町及び下川町，中川郡（上川総合振興局），増毛郡，留萌郡，苫前郡，天塩郡，宗谷郡，枝幸郡，礼文郡，利尻郡，紋別郡</u> <u>山口県，福岡県，佐賀県，長崎県</u> <u>熊本県のうち荒尾市，水俣市，玉名市，山鹿市，宇土市，上天草市，天草市，玉名郡，葦北郡，天草郡</u> <u>大分県のうち中津市，豊後高田市，杵築市，宇佐市，国東市，東国東郡，速見郡</u> <u>鹿児島県（奄美市及び大島郡を除く。）</u> <u>沖縄県</u>



別紙 2

付録 17 設計図の例 1 - 1

	科目	コード	企業番号	年	月	日
			道路調整番号			
			工事期間			

## ガス管新設及撤去図

工事理由 本工事は \_\_\_\_\_ に伴い、低圧ガス管の入取替を行うものです。

道路管理者 \_\_\_\_\_


自 \_\_\_\_\_ 至 \_\_\_\_\_

工事位置

新設 LP PE 50mm = 3.0m (道)  
 新設 LP PE 50mm = 33.0m (道)  
 撤去 LP 50mm = 3.0m (道)  
 廃止 LP 50mm = 33.0m (道)  
 新設 LP 50mm PEポールバルブ(放射管付)1基 (道)  
 新設 A型レジンボックス1基 (道)  
 廃止 LP 50mm 高圧コック 1基 (道)  
 廃止 A-1型ボックス 1基 (道)

専管図番号	縮尺	図示	設計図決裁年月日	所 長	サイン	担 当
			年 月 日			
設計図作成年月日	年 月 日	設計図作成会社	年 月 日	変更内容	検図者	担当者
設計図変更履歴	年 月 日	年 月 日	年 月 日	変更内容		

## 位置図



道出位置

道施工位置

凡 例

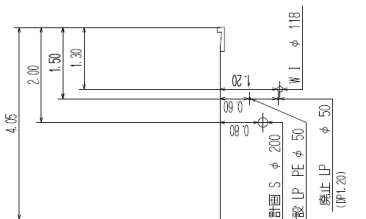
- 既設ガス管位置
- 関係ガス管位置
- 供給ガス管位置
- 新設ガス管位置
- 廃止(専共)ガス管位置
- 廃止(専共)ガス管位置
- 新設バルブ位置
- 既設バルブ位置

道路管理番号	口徑		歩車道別	掘削予定			復旧予定	
	新	仮		長さ(m)	幅(m)	面積(m <sup>2</sup> )	幅(m)	面積(m <sup>2</sup> )
道	50		車道	33.00	0.60	11.80		
道	50		車道	33.00	0.45	14.85		

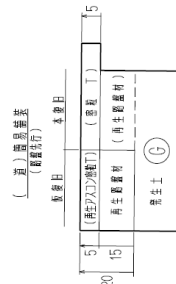
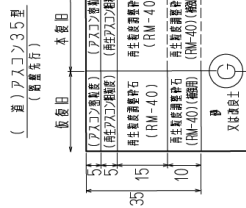
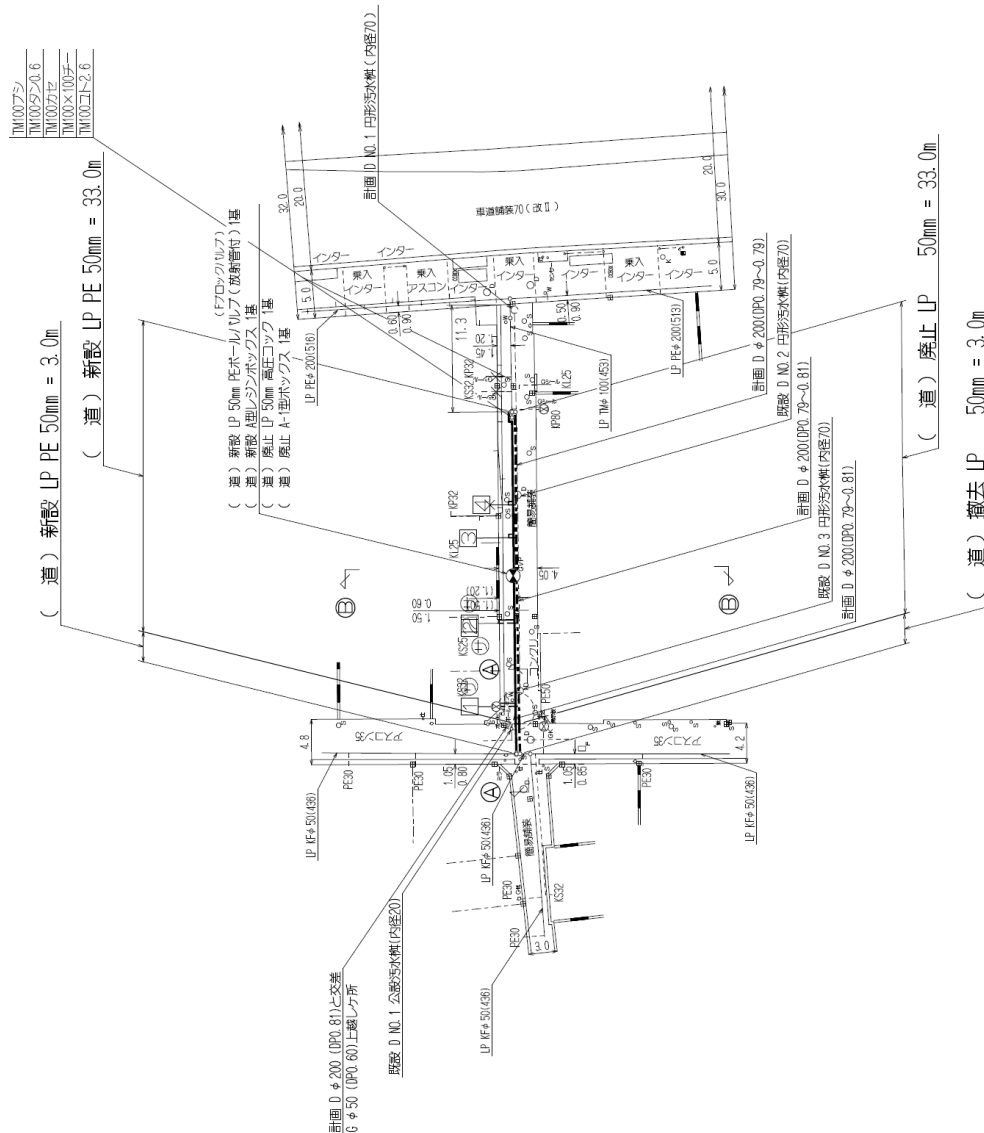
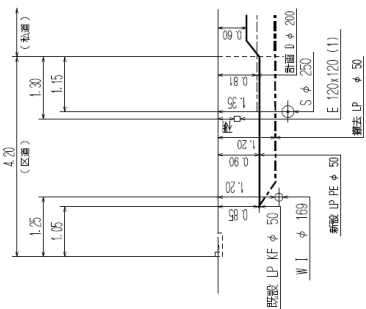
別紙 2

設計図の例 1 - 2

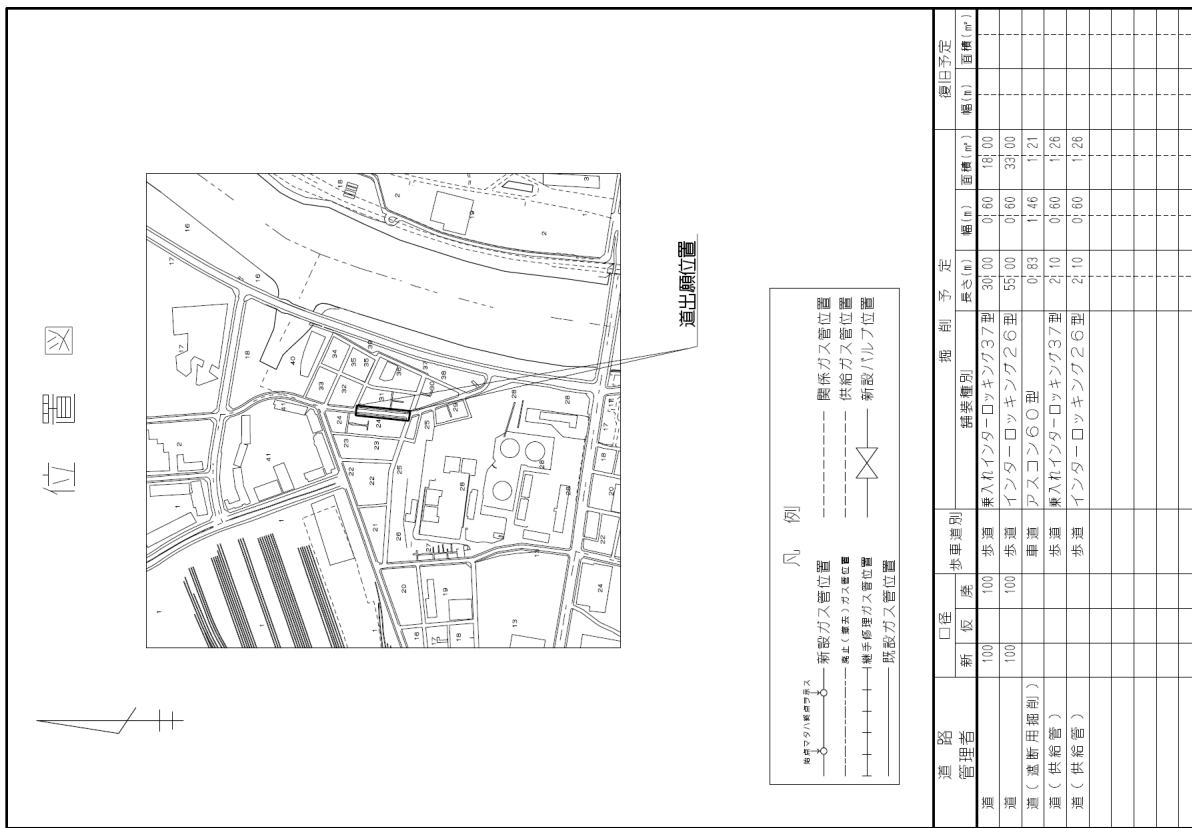
断面図㉔ S=1/100



断面図㉕ S=1/100



設計図の例 2 - 1



科目	コード	企業番号	年 月
ガス管新設及撤去図		道路調整番号	年 月
申請図・積算図 改良土使用 路盤先行工事		工事期間	年 月
工事理由 <input type="checkbox"/> 本工事は保安対策上、低圧ガス管の入取替を行うものです。 道路管理者 <input type="checkbox"/> 道			
工事位置 自 _____ 至 _____			
新設 LP PE 100mm 83.0m ( 道 ) 撤去 LP 100mm 80.0m ( 道 ) 撤去 LP 100mm 5.0m ( 道 ) 街路樹根囲柵 撤去及復旧 4.3m ( 道 ) 点字ブロック 撤去及復旧 1.80m <sup>2</sup> (20枚) ( 道 ) 遮断用掘削 1ヶ所 ( 道 )			
標準図番号	縮尺	設計図決算年月日	担 当
	図示	年 月 日	担 当
設計図作成年月日	年 月 日	設計図作成会社	検査者
設計図変更履歴	年 月 日	変更内容	担当者

